

公害から学ぶパネル展

影、光る

全国公害資料館からの
メッセージ



2020 12.1(火) - 12.25(金) 〈入館料無料〉

(月曜休館・12/7・14・21日)

9:30 - 17:30 (最終日は14:00まで)

会場 ナガサキピースミュージアム

〒850-0921 長崎県長崎市松が枝町7-15

アクセス：路面電車「大浦海岸通」下車 徒歩3分 /
長崎バス「グラバー園入口」下車 徒歩1分

電話：095-818-4247

H P: <http://www.nagasakips.com/>

メール: museum@nagasakips.com

関連イベント

クロストーク
ナガサキピースミュージアム
×
公害資料館

ナガサキピースミュージアムの専務理事の増川雅一さんにお話いただきながら、公害資料館ネットワークの活動と「平和」との接点を考えるトークイベントを開催します。オンラインでもご参加いただけます。詳しくは裏面をご覧ください。

影、光る

全国公害資料館からのメッセージ



水俣病、四日市公害、イタイイタイ病——急速に経済成長した日本で、たくさんの人びとが命を落とし、健康を奪われた事件は、「公害」として記憶されています。しかしわたしたちは、これら事件の名前を覚えることにより、実態を忘れてきたのではないのでしょうか。

じつはいま、全国各地で、公害経験を起点とした地域再生の取り組みがはじまっています。地域ごとに異なる悩みを持ち寄ってともに考える場としての公害資料館ネットワークというつながりも生まれました。高度成長の「影」とされてきた公害経験は、人々の取り組みによって、未来を照らす「光」を放ちつつあります。

来たる2021年12月、公害資料館ネットワークが集うフォーラムが、ここ長崎で開かれます。このたび、フォーラムのプレ企画として、公害資料館ネットワークの作成した「なぜ今、公害から私たちは学ぶのでしょうか？」と題するパネルと、ネットワークに加盟する公害資料館の紹介パネルを合わせて展示します。

「戦争は最大の公害」と言われます。戦争の災禍を知る長崎のみならず、さまたともに、「公害」をより広く・深く考えるきっかけとできれば幸いです。

関連イベント

クロストーク ナガサキピースミュージアム × 公害資料館

2020年12月19日(土) 14:00 ~ 15:30 **参加費無料**

会場 ナガサキピースミュージアム

展示会場であるナガサキピースミュージアムは、美しい自然や子どもたちの笑顔、音楽などを通し、平和への一步を提案している「平和文化型ミュージアム」です。歌手・さだまさし氏の呼びかけによって1995年に発足したナガサキピーススフィア員の火運動が母体となり、多くの方の募金によって、2003年にミュージアムが建設されました。このイベントでは、ナガサキピースミュージアムの活動とその特色を、専務理事の増川雅一さんにお話しいただきながら、公害資料館ネットワークの活動との接点を考えてみたいと思います。今回展示するパネルができるまでの経緯もお話します。

トーク：増川雅一さん（ナガサキピースミュージアム）

林 美帆さん（公害資料館ネットワーク）

聞き手：友澤悠季（長崎大学環境科学部）

お申し込み方法

現地参加、もしくはライブ配信による
オンライン参加が選べます。

申込期限：2020年12月17日(木)

■現地参加のお申し込み：

ナガサキピースミュージアム

電話：095-818-4247

メール：museum@nagasakips.com

※小さな会場のため、申し込みが多い場合は
オンライン参加をお願いすることがあります

■オンライン参加のお申し込み：

公害資料館ネットワーク <http://kougai.info/nagasaki>

もしくはQRコードからお申し込みください。



◎公害資料館ネットワークについて

公害資料館ネットワークは、公害教育を実施している組織の交流を図ることを目的として、2013年12月7日に新潟市で発足しました。各地で実践されてきた「公害を伝える」取り組みを共有し、多様な主体と連携・協働しながら、ともに二度と公害を起こさない未来を築く知恵を全国、そして世界に発信することを協働ビジョンに掲げています。2019年まで合計7回の「公害資料館ネットワーク連携フォーラム」を開催しています（新潟、富山、四日市、水俣、大阪、東京、倉敷）。

〈公害資料館連携フォーラム in 長崎実行委員会 メンバー〉
(2020年10月時点)

菊池英弘（長崎大学環境科学部教授）

下田守（下関市立大学名誉教授）

友澤悠季（長崎大学環境科学部准教授）

公害資料館ネットワーク